

高山市平和都市宣言検討会議 班長会議の結果報告

日 時：平成 28 年 2 月 22 日（月）

場 所：市役所 4 階中会議室

参加者（敬称略）：A 班班長 黒木 正之
B 班班長 元仲 しのぶ
C 班班長 谷口 津弥子
D 班班長 平塚 光明

第 6 回検討会議で班毎に作成した文章を、1 枚にまとめた。

これまでの議論が B 班の文章に良く反映されていたため、B 班の文書を土台に 4 つの班の文章を検討した。

班長会議で、論点となったこと（資料 2）を、第 7 回検討会議で諮ることとした。

高山市平和都市宣言（班長会議案）

高山市は、飛騨山脈に代表される厳しくも豊かな自然に囲まれ、周りとのつながりを大切にし、長い歴史の中で、祭りや匠の技などの伝統文化を育んできました。こうした背景をもとに、多くの人々が訪れる「国際観光都市」として、おもてなしの心を大切にしてきました。

さらに、国際平和デーにあたる 9 月 21 日を「高山市平和の日」と定め、飛騨高山の地から、世界に向けて恒久平和の実現を訴えています。

しかし、世界の各地では、紛争・テロ・飢餓が後を絶たず、核兵器の脅威にさらされている現実があります。

私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。

私たちは過去に学び、未来に伝えていきます。

戦争と核兵器がもたらす悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを。

私たちは守り続けます。

豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人との絆を。

私たちは大切にします。

多様な文化を理解し、尊重することを。

私たち高山市民は、市制施行 80 周年にあたり、世界の恒久平和の実現に向けて決意し、永久に平和都市であることをここに宣言します。